

学校通信

若松中央

発行 北九州市立若松中央小学校
校長 成重 純一

<若松中央小学校 めざす子ども>

- 言葉を大切に、言葉でよりよい人間関係を築く子ども
- 意味やねうちを考え、感じて行動する子ども
- 目標に向かって粘り強く努力する子ども

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成27年4月21日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語・算数・理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

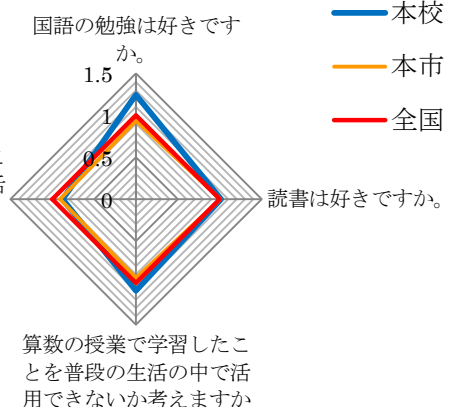
① 学力調査結果と分析

| カテゴリー | 全国平均との比較 | 学力調査の分析(傾向や特徴) |
|-------|----------------|--|
| 国語 A | 全国平均正答率を下回っている | 国語 A の「言語についての知識・理解・技能」の分野では大きな差はないが、「読む能力」「話す・聞く能力」の分野では、全国、県共に大きな差がある。無回答率は全体的に低く、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢が見られる。 |
| 国語 B | 全国平均正答率を下回っている | 国語 B の「書く能力」「読む能力」の分野では、いずれも全国、県共に大きな差がある。無回答率は全体的に低く、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢が見られる。 |
| 算数 A | 全国平均正答率を下回っている | 算数 A の「数量や図形についての技能」の基礎的な分野では、大きな差はないが、「数量や図形についての知識・理解」という応用の分野では一部全国、県共に大きな開きがある。無回答率は全体的に低く、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢が見られる。 |
| 算数 B | 全国平均正答率を下回っている | 算数 B の「単位量当たりの大きさを用いた計算」の分野では、全国、県共に上回っているが、「数学的な考え方」の分野では全国、県共に大きな開きがある。 |
| 理科 | 全国平均正答率を下回っている | 「観察・実験の技能」の分野では、全国、県共に大きな開きはないが、「科学的な思考・表現」の分野の一部では、全国、県共に大きな開きがある。無回答率は全体的に低く、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢が見られる。 |

② 学校における学習状況に関する調査結果と分析

国語の勉強が好きと答えている児童は、年度毎に全国平均を上回ってきている。読書は全国平均、市平均共に上回っており、朝読書の効果が出ている。算数科の学習を普段の生活で生かそうとする意識が高まっている。理科の学習は、実験・観察などの体験が各単元の理解の深まりとして、あまり生かされていない傾向にある。

理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

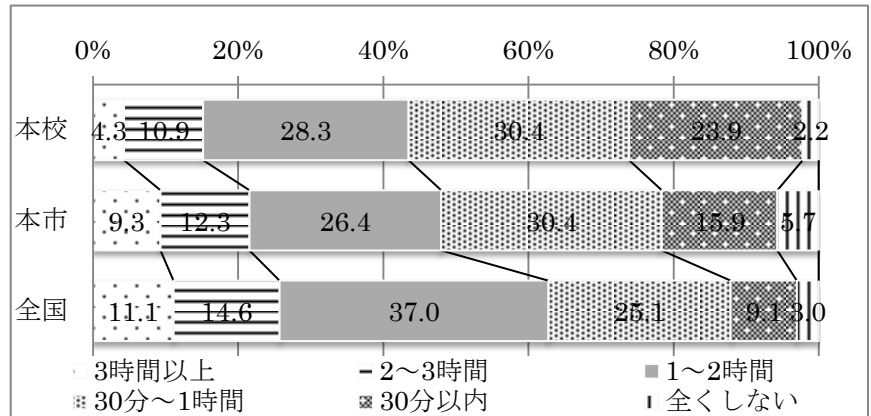


2. 家庭生活習慣等に関する調査結果の概要

① 家庭学習習慣に関する調査結果と分析

課題や自主学習は継続して取り組みを続けてきているが、実質の家庭学習の時間はそれほど確保されていない。読書に対する抵抗感はなく、家庭での読書の時間も十分に確保できている。家庭学習の時間が確保されていないと同様、その内容における計画性もほぼ薄れている。予習復習の中で、特に重点化を図りたい復習に対する意識が低い。

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾や家庭教師含む)



② 生活習慣等に関する調査結果と分析

自尊心は全国、市よりもやや低い傾向が見られる。人前で自分の考えや意見を発表することに対しては、それほど苦手意識を持っていない。携帯、スマートフォン等に接する時間が長い児童が一部に見られる。学校に楽しく来ることができている児童が多い。友達や先生と良い関係が築けている傾向にある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

◎学力向上のための特設時間の実施

- ・朝の十分間読書(月曜日から金曜日まで教師も教室で子どもと共に全校一斉に取り組む。)
- ・音読暗唱タイムを毎日設定し、校長による表彰を行う。

◎書くことの習慣化

- ・学習のめあてとまとめを書く。
- ・学習の最後3分間に学んだことを「振り返りタイム」として書くようにする。

◎話し合い時間の確保

- ・考えたことを表現したり、説明したりする活動を各教科で取り入れる。
- ・授業中に、5分間話し合い、5分間書く時間を取り入れる。(5・5タイムの設定)

② 家庭生活習慣等に関する取組

◎宿題と家庭学習の定着化

- ・家庭学習ノートの活用
- ・家庭学習時間の設定
- ・「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用
- ・家庭学習マイスター賞への応募
- ・冬休みや春休みの宿題に全国学力状況調査過去問題、CRTアシストシート、活用する力を高めるワークを活用する。



- 生活習慣の見直し「ノーテレビ、ノーゲーム、読書の日」の保護者への周知、生活や学習習慣の見直し。

・家庭と連携して学力アップをねらいます。ご協力よろしくお願いたします。